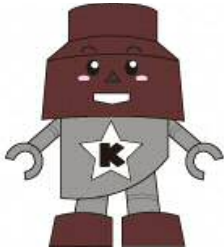


市民税・県民税 申告手引き

●市・県民税申告は、市の各種手続きや行政サービスを受けるうえでの**基礎資料**です。
本人の基礎資料がない場合、国民健康保険料が適正に算定できない・ビザの更新等各種申請に支障をきたす原因となります。

必要書類

- ④市・県民税申告書 ⑤身分証明書(在留カード、パスポート、運転免許証、マイナンバーカード)のコピー
- ⑥各種証明書(①収入を証明する書類、②控除証明書など) ※⑥がない場合は、添付する必要はありません。



川口市マスコット きゅぼらん

申告書の提出は郵送が便利！
上の④～⑥を返信用封筒に入れて、ポストに投函してね！

※窓口で申告する場合は、上記④～⑥を持参してください。

①「収入を証明する書類」の例

※前年中、収入のなかった方は、2ページ目をご覧ください。

令和 年分	給与所得の源泉徴収票
	給与所得額
	源泉徴収額
	支払総額
	控除額
	年末調整額
	控除額
	支払総額

ない場合 →

支給金額	控除金額
基本給	円 健康保険
役付手当	円 介護保険
勤続手当	円 生命保険
住宅手当	円 労働保険
退職金	円 住民税
その他	円 その他控除
源泉徴収額	円
支払総額	円

【源泉徴収票】

申告する年度の前年分を用意してください。

例：令和5年度申告
⇒令和4年分源泉徴収票

【給与明細書】

申告する前年1月～12月に「支給」された明細書をすべて用意してください。

※令和4年12月分の給与が令和5年1月15日に支給された場合、令和5年度分申告では含めません。

②「控除証明書」の例

国民健康保険税	徴収分	特徴分
令和3年度課税分	円	***** 円
令和3年度分	円	***** 円
合計	円	***** 円

国民健康保険税	徴収分	特徴分
令和3年度課税分	円	***** 円
令和3年度分	円	***** 円
合計	円	***** 円

前年中に支払った社会保険料(国民健康保険など)、生命保険料等がある場合は、所得から差し引くことができます。

一つの例として、左図の国民健康保険の納付確認書は、以下の窓口で発行できます。

第一本庁舎3階 国保収納課・川口駅前行政センター・各支所窓口

表面の書き方

本人情報

扶養

次の事項をすべて埋めてください。

- ・現住所
- ・氏名
- ・電話
- ・生年月日

配偶者や親族を扶養していた場合は、扶養控除を適用することができます。ただし、被扶養者が国外に居住している場合は、下記2点の書類が必要です。

①親族関係書類(日本語へ翻訳したもの)

- ・海外の公的機関が発行した、子どもの出生証明書や婚姻証明書など、申告する本人と被扶養者の関係が分かる書類

②送金証明書

- ・申告する年度の前年中に、申告する本人が被扶養者に送金した際の証明書

※被扶養者が複数人いる場合は、子どもも含めて全員分の証明書が必要です。

※上記2点の書類がない場合は、扶養控除を適用することができません。

(勤務先に被扶養者を申告している場合や、税務署での確定申告で国外扶養として認められている場合を除く)

※税制改正により、令和6年度課税以降について国外扶養を適用するためには、次の要件が追加されました。国外に居住している被扶養者のうち、30歳以上70歳未満の親族(左図参照)で、下記のA~Cのいずれにも該当しない場合は適用することができません。

- A. 留学により非居住者となったかた(留学ビザ等相当書類の提出ができる方)
- B. 障害者
- C. 扶養控除を申告する納税義務者(本人)から、前年中に38万円以上の支払いを受けていることを証明できる方。

親族の年齢	
16歳~29歳	対象となる
30歳~69歳	右記A~Cに該当しない場合は対象外
70歳以上	対象となる

※年齢は前年末日時点

裏面の書き方

5 収入がなかったかたの記載欄

6 給与収入があつて源泉徴収票がないかたの記載欄

5 収入がなかったかたの記載欄

前年中の収入がなかった方は、下記A~Fの記号から一つに○をして、必要事項を記入してください。

- A. 下記の人に扶養、援助されていた。例：氏名 川口太郎 続柄 父
- B. 雇用保険(失業保険)・労災保険等を受給していた。
- C. 遺族年金等を受給していた。(該当に○) 例：遺族年金・障害年金
- D. 預貯金等で生活していた。
- E. 生活保護法による生活扶助を受けていた。
- F. その他(どのように生計を立てていたか具体的に記入してください。)

※「友達の援助で生活していた」等は「F」に記載してください。

6 給与収入があつて源泉徴収票がないかたの記載欄

- ・前年1月~12月の給与収入額を記載してください。

表記は日本円で、単位についても正しく記載してください。

例：150,000円

- ・勤務先名、勤務先住所、勤務先電話番号を記載してください。

- ・□上記の金額に相違ありません。にチェックを入れてください。

申告の後に金額の変更はできませんので、よく確認してください。